

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 田谷

コード番号 4679 URL <http://www.taya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田谷 和正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員経営企画推進室長 (氏名) 田代 久士

TEL 03-5772-8411

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,146	△2.7	△116	—	△115	—	△138	—
21年3月期第1四半期	3,233	—	53	—	52	—	40	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△27.33	—
21年3月期第1四半期	8.00	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	8,607	4,595	53.4	908.74
21年3月期	8,772	4,845	55.2	958.07

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 4,595百万円 21年3月期 4,845百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	22.00	22.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	6,570	1.7	203	53.8	200	48.7	30	△60.4	5.93
通期	13,460	3.5	503	72.1	500	68.0	170	△14.5	33.61

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	5,100,000株	21年3月期	5,100,000株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	42,771株	21年3月期	42,731株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	5,057,232株	21年3月期第1四半期	5,057,439株
--------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月8日発表の通期業績予想を修正しておりません。上記の予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて当社で判断したものであり、予想には様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績がこれらの予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、企業の在庫調整が進み生産の持ち直しの兆しが見られ、昨年秋から急速に後退してきた景気に底入れ感があるとの見方もありますが、企業業績の悪化、設備投資の抑制、雇用・所得環境の更なる悪化など依然として厳しい状況が続いております。

美容業界におきましても、消費者も先行きの不安感から節約・儉約志向が一層高まり、引き続き経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては、「約束」を今年のテーマとし、美容師として髪のプロとして、お客様一人ひとりのニーズに応え満足していただけることを「お約束」し、お客様の信頼を獲得し積み上げることにより、業績の回復に努めてまいりました。また、若い美容師の早期育成を図る為の特別教育プログラム「TAYAアカデミー」も4月に開講するなど、技術・接客の向上に向けた社員教育の取組みを行ってまいりました。しかしながら、個人消費の動向は依然鈍く客足や客単価に影響し、既存店ベースでの入客数は前年同期比1.8%減、売上高は同3.2%減となりました。

店舗数につきましては、当第1四半期には、美容室1店舗（TAYA 麴町店）の新規出店を行い、一方で美容室1店舗（TAYA blue label イオン熱田SC店）を閉鎖し、第1四半期末の美容室数は、144店舗と前期末と同数であります。

以上の結果、当社の第1四半期の業績は、売上高3,146百万円（前年同期比2.7%減）となり、人員増加による経費増加もあり、営業損失116百万円（前年同期は営業利益53百万円）、経常損失115百万円（前年同期は経常利益52百万円）となり、また、創業者の取締役退任に伴う退職慰労金50百万円を特別損失に計上し、四半期純損失は138百万円（前年同期は純利益40百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は8,607百万円となり、前事業年度末と比べて164百万円減少いたしました。

流動資産の残高は2,487百万円となり、前事業年度末と比べて140百万円減少いたしました。固定資産の残高は6,120百万円となり、前事業年度末と比べて24百万円減少いたしました。主な減少は、現金及び預金の減少208百万円、売掛金の減少33百万円であります。

当第1四半期末の負債総額は4,011百万円となり、前事業年度末と比べて84百万円増加いたしました。

流動負債の残高は2,629百万円となり、前事業年度末と比べて118百万円増加いたしました。固定負債の残高は1,382百万円となり、前事業年度末と比べて34百万円減少いたしました。主な増加は、短期借入金の増加216百万円、社会保険料等による未払費用の増加53百万円、主な減少は、税金の支払による未払法人税等の減少161百万円、賞与引当金の減少115百万円であります。

当第1四半期末の純資産は4,595百万円となり、前事業年度末と比べて249百万円減少いたしました。以上の結果、自己本比率は前事業年度末55.2%から53.4%に減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ217百万円減少し、1,199百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において、営業活動の結果支出した資金は125百万円（前年同期は19百万円の獲得）となりました。

これは主に、税引前当四半期純損失169百万円、賞与引当金の減少額115百万円、法人税の支払額163百万円に対して、減価償却費59百万円、売上債権の減少額33百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において、投資活動の結果使用した資金は173百万円（前年同期比35百万円の増加）となりました。

これは主に、新規出店にともなう有形固定資産の取得134百万円、敷金および保証金の純増11百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において、財務活動の結果獲得した資金は82百万円（前年同期は2百万円の獲得）となりました。

これは主に、長短借入金の純増171百万円（前年同期は76百万円の純増）と配当金の支払額76百万円があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更はございません。

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はございません。

- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はございません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,504,299	1,712,841
売掛金	505,577	539,254
商品	45,312	43,110
美容材料	34,558	36,992
その他	398,550	296,620
貸倒引当金	△1,295	△1,528
流動資産合計	2,487,004	2,627,292
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,923,707	1,936,081
土地	1,377,828	1,377,828
その他(純額)	86,738	84,213
有形固定資産合計	3,388,274	3,398,124
無形固定資産	47,903	31,941
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,156,702	2,166,628
その他	539,176	559,972
貸倒引当金	△11,724	△11,733
投資その他の資産合計	2,684,154	2,714,867
固定資産合計	6,120,332	6,144,933
資産合計	8,607,337	8,772,225

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	446,451	432,172
短期借入金	356,200	139,700
1年内返済予定の長期借入金	382,159	400,492
1年内償還予定の社債	130,000	130,000
未払費用	571,882	518,785
未払法人税等	31,684	193,202
賞与引当金	106,913	222,450
その他	603,907	473,400
流動負債合計	2,629,199	2,510,202
固定負債		
長期借入金	786,508	813,377
退職給付引当金	305,969	299,801
その他	289,957	303,645
固定負債合計	1,382,435	1,416,824
負債合計	4,011,634	3,927,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金	1,702,245	1,702,245
利益剰余金	1,531,850	1,781,316
自己株式	△118,572	△118,543
株主資本合計	4,595,702	4,845,198
純資産合計	4,595,702	4,845,198
負債純資産合計	8,607,337	8,772,225

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,233,022	3,146,456
売上原価	2,794,437	2,860,558
売上総利益	438,584	285,897
販売費及び一般管理費	384,716	402,508
営業利益又は営業損失(△)	53,867	△116,610
営業外収益		
受取利息	1,229	1,556
不動産賃貸料	3,731	3,520
その他	7,810	7,592
営業外収益合計	12,772	12,669
営業外費用		
支払利息	7,819	8,620
不動産賃貸費用	2,989	2,595
その他	2,836	722
営業外費用合計	13,645	11,938
経常利益又は経常損失(△)	52,994	△115,879
特別利益		
退店補償金	62,909	—
貸倒引当金戻入額	300	242
特別利益合計	63,209	242
特別損失		
固定資産除却損	7,729	4,010
減損損失	7,759	—
役員退職慰労金	—	50,000
その他	1,986	—
特別損失合計	17,475	54,010
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	98,728	△169,647
法人税、住民税及び事業税	15,145	15,197
法人税等調整額	43,118	△46,638
法人税等合計	58,263	△31,441
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,465	△138,206

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	98,728	△169,647
減価償却費	52,542	59,026
減損損失	7,759	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△76,127	△115,536
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	908	6,167
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△300	△242
受取利息	△1,229	△1,556
支払利息	7,819	8,620
固定資産除却損	7,729	0
退店補償金	△62,909	—
役員退職慰労金	—	50,000
売上債権の増減額 (△は増加)	46,715	33,676
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,824	1,983
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,704	14,278
その他	33,617	158,237
小計	127,133	45,007
利息の受取額	578	1,320
利息の支払額	△6,819	△8,274
退店補償金の受取額	62,909	—
法人税等の支払額	△164,652	△163,968
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,150	△125,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△139,035	△145,010
定期預金の払戻による収入	32,841	136,132
有形固定資産の取得による支出	△50,809	△134,154
敷金及び保証金の差入による支出	△8,837	△13,438
敷金及び保証金の回収による収入	30,416	2,430
その他	△2,494	△19,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137,919	△173,792
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	387,000
短期借入金の返済による支出	△183,800	△170,500
長期借入れによる収入	—	66,000
長期借入金の返済による支出	△89,825	△111,202
長期未払金の返済による支出	△1,695	△7,910
リース債務の返済による支出	△584	△4,622
自己株式の取得による支出	—	△29
配当金の支払額	△71,900	△76,404
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,194	82,330
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△116,574	△217,420
現金及び現金同等物の期首残高	1,190,095	1,416,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,073,520	1,199,351

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。